

第30期第3回理事会議事録

日 時：1999年3月25日（木）15時00分～16時40分

場 所：気象庁観測部会議室

出席者：廣田，二宮，石島，神沢，木田，城尾，関口，
竹村，田中（博），田中（浩），中村（誠），
新野，藤部，村松 以上14名

その他の出席：事務局（館）

議 事

1. 日本学術会議気象学研究連絡委員会の活動状況

標記の研究連絡委員会の活動状況について，同委員会高橋劭委員長の代理として同委員会の幹事でもある木田理事から説明があり，IUGG(国際測地学・地球物理学連合)2003年大会の正式招請状を地球物理学研究連絡委員会名で送付したこと，本年7月英国パーミンガムで開催されるIUGG総会の下に行われるIAMAS(国際気象学・大気科学協会)総会に木田理事を日本側代表として派遣することになったこと，IAMASのEC(執行理事会)の松野理事の任期満了に伴う後任推薦が必要で，研究連絡委員会として検討している旨，報告があった。更に，地球物理学関連の研究連絡会の在り方や数について議論がなされているとの報告もあった。

他方，廣田理事長からもIUGGおよび関連学会の国内活動等について説明があり，地球物理関連学会の会長等による非公式な懇談会が2月13日開催され，IUGGの2003年大会の招請に係わる国内の取り組み，IUGGの国内対応組織結成，その他の共同企画事業の検討などについて話し合われたことが報告された。

2. 日本気象学会1999年度総会議案

1) 総会定足数に関する定款の改訂

「公益法人の設立許可及び指導監督基準の運用指

針」の一部改正につき文部省より通知があり，社団法人について「定足数が過半数以上でない」場合は，本年9月までに適合するようにとの指示があった。

当運用指針に沿って，当会の定款第38条が，現在「5分の1以上」となっているのを「過半数以上」と改訂することを理事会として決定し，総会の承認を求めることになった。

2) 理事の辞任とこれに伴う後任理事推薦

人事異動等にも関係して，全国区および地区選出の理事5名から理事辞任の申し出があった。理事会として，この辞任を承認すると共に，後任理事を総会に推薦し承認を求める手続きを取ることが了承された。

3. 1999年度事業計画・予算（案）

1999年度の事業として，各委員会等からの提案を検討し，機関誌等の発行，会議等の開催，大会・研究会等の開催，研究業績の顕彰と研究の奨励，普及活動，国際学術交流活動等，基本的に従来からの事業を継承すると共に，関連学会との協力を深めて，地球環境科学関連学会協議会の取り組み，地球惑星科学関連学会の合同大会参加，2000年国際オゾンシンポジウム国内組織委員会およびIUGG2003年大会準備委員会等への協力などにより，対外活動を強化するとの方針で，1999年度の事業計画・予算案を理事会決定し，総会の承認を求めることになった。

平成11年3月30日

社団法人日本気象学会

議 長 二宮洸三

署名人 竹村行雄

署名人 城尾泰彦